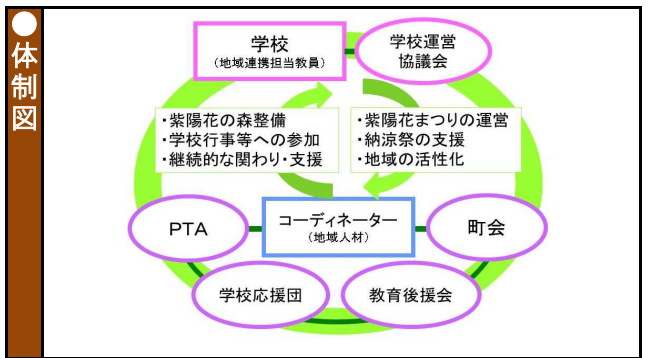


# 学校と家庭・地域が一体となった子供たちの育成

埼玉県川口市	●活動名	●関係する学校名
	川口市立小谷場中学校地域協働部	川口市立小谷場中学校

協働活動開始年度	平成 21 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	7 学級	のべ児童・生徒数	233 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 3人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
参考URL	平成29年4月1日設置						
	<a href="http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/koyaba-j/">http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/koyaba-j/</a>						



●連絡先	川口市教育委員会 指導課	☎ 048-259-7661
------	--------------	----------------

●活動の概要・経緯

「生徒数が減少している中学校」と「高齢化が進んでいる地域」であることから、学校と地域が力を合わせて解決をしようと、連携・協働をするようになったのが背景である。3人の地域コーディネーターを中心に地域の住民達に少しでも学校に関心をもってもらいたいという願いから、「紫陽花の森」「紫陽花まつり」「納涼祭」を中心に学校と地域で共同開催をし、生徒や教職員、保護者の力を活用しながら地域との触れ合いを増やしていった。そのことにより、地域による学校支援も活性化し、学校・地域双方に活力を生み出していった。

今後も、小谷場中学校はコミュニティ・スクールとして地域に愛される学校になるべく、さらなる地域との連携・協働に努めようとして取り組んでいる。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校裏の斜面に、学校と地域が連携し、300本の紫陽花の挿し木を実施した。その後も除草や剪定作業を継続的に実施し、昨年度にはさらに400本追加し、現在は紫陽花の森が広がっている。
- ②紫陽花の森を地域に見せることを目的とし、学校と地域共催により、「紫陽花まつり」を実施している。
- ③高齢化等により中止となっていた町会の納涼祭を、学校と地域との共同開催とし、納涼祭の復活を図った。生徒が模擬店を出店したり、ダンス部の発表などを行っている。
- ④補習、技能教科の学習支援に加え、月2回Step up学習会を実施し、生徒の学力向上の支援を行っている。

### 【実施に当たっての工夫】

学校応援団(学校支援活動)、教育後援会、町会からなる3人のコーディネーターと学校の地域連携担当教員が連絡を密にし、活動内容を日頃から相談しているため、円滑に活動を実施することができている。また、学校長は学区内全ての町会の役員会(月1回程度)に参加したり、地域の行事に顔を出すことで、学校の情報を発信したり、地域からの願いを取り入れたりすることで、互いのビジョンの共有を図っている。なお、納涼祭や紫陽花まつりは地域と学校が共同開催しているため、事前・事後の会議を行い、開催中に気がついた点については実施後に確認をし、次年度の改善に繋がるよう努めている。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

上記に挙げた活動を継続的に取り組んできたことにより、小谷場中学校の生徒数は増加し、全体的に教育活動が活発となってきた。地域の方が学校へ足を運ぶ数も増え、生徒や教職員からも校内に地域の方がいることが自然となってきている。また、生徒が登下校や校外に出た際に、地域から声を掛けられることも多く、地域の中の学校であるという意識が学校・地域共に高まってきている。

## ● その他

地域の方に、学校に来てもらいたいという願いから、学校の斜面に「紫陽花の森」をつくり、「紫陽花まつり」を実施したり、「納涼祭」を学校と地域が協働して実施することにより、多くの方に学校へ足を運ぶ機会となっている。



学校と地域住民が連携・協働して「紫陽花の森」づくり



学校と地域で「納涼祭」を開催する